

2018年10月11日

各位

会社名 株式会社 S H I F T  
 代表者名 代表取締役社長 丹下 大  
 (コード番号: 3697 東証マザーズ)  
 問合せ先 経営管理部 部長 岡 朋宏  
 (TEL. 03-6809-1165)

特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び  
2018年8月期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は2018年8月期において、投資有価証券評価損を特別損失として計上し、2018年4月13日に公表いたしました2018年8月期の通期業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 特別損失の計上について

2018年8月期決算において、当社が保有する投資有価証券について、帳簿価額に比べ実質価額が著しく下落したため、特別損失（投資有価証券評価損）403百万円を計上いたしました。

## 2. 2018年8月期累計期間の連結業績予想数値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	1,100	1,100	750	51 93
今回発表実績(B)	12,792	1,200	1,238	368	25 49
増減額(B-A)	△207	100	138	△381	—
増減率(%)	△1.6	9.2	12.6	△50.9	—
(参考)前期実績 (2017年8月期実績)	8,174	391	440	208	14 49

## 3. 2018年8月期累計期間の連結業績予想数値との差異の理由

当2018年8月期累計期間の業績につきましては、注力業界の一つとしていた金融・流通業界での好調な受注環境を受けて着実に収益基盤を拡大させ、売上高12,792百万円(対前年同期比56.5%増)で着地いたしました。

また、上述の増収に加え、売上高1,000億円に向けたギアチェンジとなる「SHIFT' 300」で掲げている経営管理体制の強化により、予想とほぼ同水準の営業利益1,200百万円(対前年同期比206.8%増)、経常利益1,238百万円(対前年同期比181.1%増)となりましたが、上述の特別損失の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は、368百万円(対前年同期比76.5%増)となり、予想に対して50.9%減となりました。

以上